

## 愛媛大学大学院農学研究科 研究シーズ集（研究者情報）

<b>氏名</b>	丸山 広達	<b>専 攻</b>	生命機能学
		<b>コ ー ス</b>	健康機能栄養科学特別コース
<b>職名</b>	准教授	<b>専門分野</b>	地域健康栄養学分野
<b>メールアドレス</b>	maruyama.kotatsu.rt@ehime-u.ac.jp	<b>その他連絡先</b>	089-946-9960
<b>研究課題</b>	・日常の食習慣（栄養素・食品摂取量や食行動等）と健康との関連についての観察疫学研究 ・食品や栄養素の機能性評価のための介入研究		
<b>キーワード</b>	食生活学、疫学・予防医学、衛生学・公衆衛生学		

### 研究内容：

#### ・日常の食習慣（栄養素・食品摂取量や食行動等）と健康との関連についての観察疫学研究

愛媛県東温市で愛媛大学医学部等と共同で進めている観察疫学研究「東温スタディ」(<http://www.toon-study.jp/>)において、食習慣（栄養素・食品摂取量や食行動等）と健康（主に循環器疾患や糖尿病、認知機能等）との関連についての疫学研究を進めており、これまでに、そしゃく能と肥満<sup>1)</sup>や血清βグロテン濃度とインスリン抵抗性<sup>2)</sup>との関連について報告している。また、その他国内のコホート研究において、食習慣と健康等の関連を分析する他、食事調査に係る基礎的な研究にも参画している<sup>3)</sup>。

農学部の他の研究室とも共同で、食品成分表未掲載微量栄養素等、これまで検討されていなかった栄養素や食品成分についても、日常生活の中でどのようにとられているのか、またその摂取が健康とどう結びついているかなどについても研究を進めていきたい。

#### ・食品の機能性評価のための介入研究

現在は官学連携の共同研究（例：高アミロース米の機能性評価<sup>4)</sup>）について進めている他、機能性評価に係る介入研究の統計解析や研究デザインへの参画等<sup>5)</sup>、食品や栄養素の介入研究に携わっている。

医学部等他学部とも連携し、多様な疾患と食品・栄養素の機能性との関連を明確にするための介入研究やそのための基礎的な研究を進めている。

### 「栄養疫学」に基づいた「食による健康づくり」の推進



1) Maruyama K, et al. Obesity (Silver Spring). 2015;23:1296-302.

2) Higuchi K, Saito I, Maruyama K, et al. Nutrition. 2015;31:975-80.

3) Maruyama K, et al. Nutr Res. 2015;35: 14-22.

4) 丸山広達、他. 日本栄養・食糧学会誌. 2019;72:85-89.

5) Kinoshita T, Maruyama K, et al. Food Funct.2019; 10: 8129-8136.

### 提供可能な資源・技術・その他

・食品・栄養素の機能性評価に係る介入研究や観察疫学研究のデザインや統計処理について。

### プロジェクト研究希望テーマ